

# こころの鈴 通信

No.14  
中学生版  
2019年7月9日

こんにちは。すこしずつ暑くなってきましたね。部活動の大会もあり、期末テストも控え、1学期の忙しい時期ですね。

今回は、昨年12月に、小学校4年生から中学校3年生全員に行った『学校外のスポーツ・文化活動に関するアンケート』結果から、中学生の回答の結果をお知らせします。



## 結果報告

### 『学校外のスポーツ・文化活動についてのアンケート』

#### 1 回答してくれた中学生の数

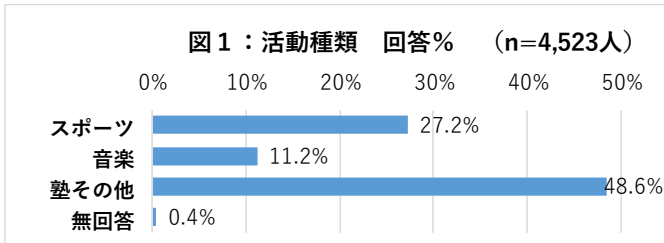
1年生1,582人、2年生1,578人、3年生1,357人、学年不明6人の、計4,523人から回答がありました。配付数6,319人に対して71.6%の回答率でした。

#### 2 活動をしている中学生の数

活動をしている人3,024人(66.9%)、していない人1,491人(33.0%)でした。をしている

#### 3 問4:それはどのような活動ですか?

スポーツ1,232人、音楽505人、塾その他2,196人、種類不明19人でした(%は下図参照)。



活動の詳細で多いのは、スポーツがサッカー252人、音楽が楽器演奏475人、塾・英語等が2,112人となっています。

活動をしている人の活動種類は、平均1.35回でした。

#### 4 問5:その活動は楽しいですか?

回答は、「はい」が2,207人(73.0%)、「いいえ」が142人

(4.7%)、「どちらともいえない」が627人(20.7%)でした。多くの皆さんが楽しんでいる様子があります。

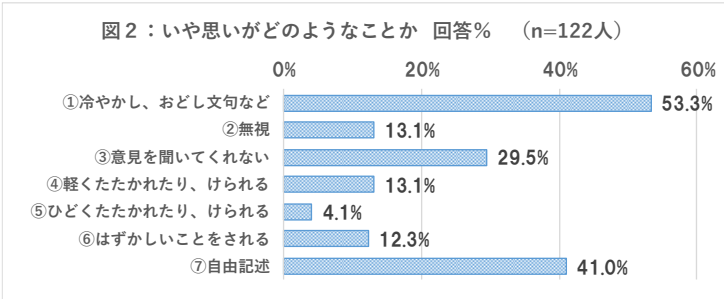
#### 5 問6:指導者の言葉や行動から、いやな思いをしたことがありますか?

回答は、「はい」が122人(4.0%)、「いいえ」が2,854人(94.4%)でした。

割合は少ないですが、いやな思いがある人が122人いました。

#### 6 問7:いやな思い どのようなことですか?

いやな思いのあると答えた122人の中で、「冷やかしかからかい、おどし文句、いやなことを言われる」65人、自由記述50人、「自分の意見を聞いてくれない」36人となりました。自由記述には暴力、暴言、差別的対応の詳細などが、記入してありました(%は下図参照)。



#### 問8:いやな思い それは今も続いていますか?

回答は、「今もときどきある」55人(45.1%)、「今もよくある」23人(18.9%)、「今はない」36人(29.5%)となりました。計78人(64.0%)が今でもいやな思いを抱えていました。

#### 8 問9:いやな思いをしたことを、どのように感じていますか?

回答は、「いやな思いをしているのは、自分だけではないと思う」44人(36.1%)、「ほかに自分への言い方や伝え方があるのではないかと思う」36人(29.4%)、「今もいやな思いが続いている」30人(24.5%)となりました。

#### 9 問10:いやな思いをした時、なにか行動をしましたか?

回答は、「親や大人に話をした」57人(46.7%)、「友だちに話をした」46人(37.7%)、「がまんした」27人(22.1%)となりました。

#### 10 問11:「こころの鈴」に相談したいと思いませんか?

回答は、「わからない」48人(39.3%)、「誰にも相談しない」34人(27.9%)、「こころの鈴に相談する」2人(1.6%)となりました。「こころの鈴」も含め、相談することは難しいようです。

アンケートに協力してくださった皆さん、ありがとうございました

# 「学校外のスポーツ・文化活動のアンケート」結果

## 子どもの権利擁護委員の意見



きたがわ かずひこ  
北川 和彦



ひらばやし ゆうこ  
平林 優子



いしね まさお  
石曽根 正勇

### 1 学校外の活動への参加

たくさんの皆さんが学校外の活動に参加していました。2種類以上の活動をしている人もいました。創造力を高め、社会性や主体性を培う貴重な機会となる「自由な生活時間」が少なくなっていないか気を付けていく必要があります。

### 2 いやな思いとその内容

指導者の言動でいやな思いをした人が122人いました。いやな思いの内容は「冷やかしかからかい、おどし文句、いやなことを言われる」が一番多く、次に「自分の意見を聞いてくれない」でした。個人の尊厳に配慮した指導の必要があると感じられました。

また、自由記述の中には、体罰に相当する指導の可能性の記述や、暴言や差別的言動に関する内容があり、早急に改善が必要と思われるものもありました。

いやな思いをしている人の多くは、大人や友だちに話をしていますが、相談できず我慢した人もいました。「こころの鈴」が気軽に利用できることを目指したいと思います。

### 3 全体を通して

緊急に救済の必要のある案件はすでに着手し、一定の成果を得ています。今回の結果はできるだけ多くの学校外の活動の組織、団体等に伝え、注意の喚起をはかりたいと思います。

松本市のめざす「子どもにやさしいまち」が実現されるよう、子どもの権利擁護委員および「こころの鈴」は努力したいと考えています。

### 保護者の皆さんへ

昨年12月に実施した、『学校外のスポーツ・文化活動についてのアンケート調査』につきましては、多くの児童・生徒のみなさんが回答をくださいました。保護者の皆様にも感謝申し上げます。この結果から、松本市子どもの権利擁護委員は、子どもの権利の救済に向けて、今後とも活動をしていきます。

アンケート結果の詳細につきましては、松本市公式ホームページに公開していますのでご覧ください。また、冊子の『報告書』をご希望の方は、松本市子どもの権利相談室『こころの鈴』へお問合せください。

『こころの鈴』には保護者の皆さんから、様々な相談が寄せられています。お子さんのことで心配なことがありましたら、是非、ご相談ください。

「学校外のスポーツ・文化活動についてのアンケート調査報告書」は松本市公式ホームページ

[http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kodomo/kenri/kokorono\\_suzu/kodomo-gakkougai-annketo.html](http://www.city.matsumoto.nagano.jp/kodomo/kenri/kokorono_suzu/kodomo-gakkougai-annketo.html) でご覧いただけます。

### 松本市子どもの権利相談室『こころの鈴』

～秘密は守ります～

- 受付時間 月～木・土曜日 午後1時～6時／金曜日 午後1時～8時
- 場 所 松本市大手3-8-13 松本市役所大手事務所2階
- 電話で相談 0120-200-195（無料）
- 会って相談 こころの鈴までお越しいただくか、お電話をください。
- メールで相談 [kodomo-s@city.matsumoto.lg.jp](mailto:kodomo-s@city.matsumoto.lg.jp)



メールアドレスQRコード ⇒